

非常時備蓄品について

避難直後から数日間自給するための【非常時備蓄品】についてお知らせします。

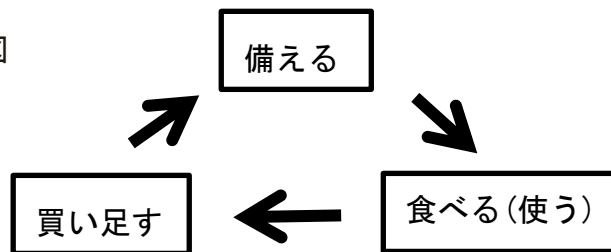
避難した後で少し余裕が出てから安全を確認して自宅へ戻り、避難所へ持ち出したり、または自宅で、避難生活を送ったりする上で必要なものです。救援物資が届くまでの数日間（最低でも3日間、可能な限り1週間程度）、自足できる分量を備えましょう。

また、各家庭で備蓄の状況などを定期的に確認することが大事です。このため、家族で備蓄の確認を半年に1回は、行いましょう（3月11日と9月1日のように、大きな震災があった日を目安にすると、忘れにくくなります）。

ローリングストック方式

1週間分もの食料などを備蓄するのは大変です。消費期限が来るたびに大量購入と破棄の繰り返しとなります。食料として普段食べているレトルト食品、インスタント食品や飲料水、カセットコンロのボンベなどを初めに少し多めに購入し、定期的に消費して、使った分（消費した後でも、食料は世帯人数×3日分の在庫を確保しましょう）を買い足していくローリングストック方式ですと無駄がなくなります。

ローリングストック方式のイメージ図



非常時備蓄品として備えておくの良いもの

- 食料—缶詰やレトルト食品、インスタントラーメンなど、そのまま食べられるか、簡単な調理で食べられるもの。
- 水（飲料用として1人1日3リットル）—飲料水以外に炊事、洗濯、トイレなどに使う生活用水の確保のため、風呂の水は抜かず、また、寝る前にポットややかんに水をいれておく。
※水道水を煮沸しないで、冷蔵庫に保管すると1週間は飲料水として使用できます
- 被災地で重宝した品目
 - カセットコンロ □懐中電灯 □野菜ジュース □簡易トイレ □充電式ラジオ など
- 燃料
 - カセットコンロなどのガスボンベは多めに用意を。アウトドア用の携帯コンロも便利。
- その他
 - 常備薬（市販薬） □ランタン □洗面具 □給水用ポリタンク
 - 紙皿、紙コップ、割り箸 □水のいらぬシャンプー □生理用品 □新聞紙
 - 大型ビニール袋、ビニールシート □長靴 □キッチン用ラップフィルム
 - 乾電池 □携帯電話の予備バッテリー など

避難直前に非常時持出品等を準備するのは、絶対に避け、避難を優先してください。

避難直後は、危険ですので備蓄品を取りに帰らないでください。

事務担当は、総務課安全防災担当室
Tel : 84-5540